

生活習慣による肥満症を改善

# 防風通聖散GOLD Z

有効成分 **6000mg** 配合

第2類医薬品

生活習慣による肥満症を改善

# 防風通聖散GOLD Z

有効成分 **6000mg** 配合  
満量処方  
30日分 450錠

お腹周りの脂肪を落とす

肥満症 むくみ 便秘

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちな方の肥満症、  
高血圧や肥満に伴う症状(どうき、肩こり、のぼせ、便秘、むくみ)

第2類医薬品



4 987076 405365

製造番号

使用期限

承認基準内 最大生薬量配合※

※一般用漢方製剤製造販売承認基準

満量処方

日本薬局方 防風通聖散エキス  
1日最大量 27.2gの生薬より得た  
エキスを全量配合しました



【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) ぬれた手で取り扱わないでください。  
(湿気は錠剤の色や形が変わる原因になります。)
- (5) ビンの中の詰め物は開封時に捨ててください。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

【お客様相談室】 ☎ 06-6423-0565

(祝日を除く月～金曜日10:00～17:00)

【製造販売元】

株式会社 阪本漢法製薬  
兵庫県尼崎市名神町1-5-12

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931

押して開ける

漢方製剤  
第2類医薬品

この箱は本剤とともに保管し、服用の際にはよくお読みください。

【販売名】 阪本漢法の防風通聖散錠ゴールドZ5T

【効能・効果】

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなもの次の諸症：高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症(副鼻腔炎)、湿疹・皮膚炎、ふきでももの(にきび)、肥満症

【用法・用量】

次の量を食前又は食間に水かお湯で服用してください。

年齢	1回量	服用回数
成人 (15歳以上)	5錠	1日3回
15歳未満	✕ 服用しないでください	

\*食間とは食後2～3時間を指します。

<用法・用量に関連する注意>

定められた用法・用量を厳守してください。

【成分・分量】

1日量15錠中 日量 防風通聖散エキス 6,000mg

成分	分量	成分	分量	成分	分量
キキョウ	2g	トウキ	1.2g	ケイガイ	1.2g
ビャクジュツ	2g	シャクヤク	1.2g	ボウフウ	1.2g
カンゾウ	2g	センキュウ	1.2g	マオウ	1.2g
オウゴン	2g	サンシシ	1.2g	シヨウキョウ	0.4g
セッコウ	2g	レンギョウ	1.2g	カッセキ	3g
ダイオウ	1.5g	ハッカ	1.2g	ポウシヨウ	1.5g

より製した乾燥エキス

添加物：バレシヨデンブン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム

<成分・分量に関連する注意>

本剤は天然物(生薬)のエキスをを用いていますので、錠剤の色調等が多少異なることがあります。

△使用上の注意

※ してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)  
1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと  
他の瀉下薬(下剤)
- 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

※ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること  
(1) 医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)  
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人 (5) 発汗傾向の著しい人 (6) 高齢者 (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人 (8) 次の症状のある人：むくみ、排尿困難  
(9) 次の診断を受けた人：高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹部膨満、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
精神神経系	めまい
その他	発汗、動悸、むくみ、頭痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること：下痢、便秘
- 1ヵ月位(便秘に服用する場合には1週間位)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

① ② ③  
④ ⑤ ⑥

S1  
A000

000W